

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	社会福祉法人あざみ会しいのみ保育園
所在地	品川区南品川2-15-14

1 活動のテーマ

- ・音
- ・祭りを通して、地域との関わりを深める

<テーマの設定理由>

都心にありながら、各町内から集まった神輿が荏原神社へと集結。沿道からの盛大な歓迎の様子は地域住民の結束と一体感を肌で感じられる見どころの地域行事の一つ、かっぱ祭り。地域行事に参加することで地域との関わりを持ち、人と人との触れ合い・温かさを感じることができるようにしていく。また、日本の伝承行事の祭りを見て・触れて・聴いて実体験することで更に五感の発達を促し深めていく。

2 活動スケジュール

- 4月⇒製作立案、決定・太鼓製作をし、楽器に見立て太鼓遊びを行う
- 5月⇒・神輿(山車)装飾の製作・園内祭り装飾製作
- 6月⇒・製作をした提灯を園内に飾りつけ祭りの雰囲気作りをする
・神輿(山車)引きをし、当日を楽しみにする

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

【神輿・ちょうちん製作使用】

- ・画用紙・紙コップ・スポンジ・絵具・折り紙・水性ペン・シール・ストロー

・ちょうちん製作を行い室内に飾りつけをした。保育室を祭りの雰囲気にする事で、視覚からもいつもと違う楽しさが感じられるようにした。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

日常の様々な音に耳を傾け、様々な場所で興味が持てるように声掛けを行った。

保育者：「何の音だろう？」

こども：「電車の音」「車の音」「ドアの音」「ママのお料理の音」「ピアノの音」などの答えが返ってきた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日常耳にしている音に保育者が働きかけると、知っている音には直ぐに答えるが、耳慣れない音には想像力を膨らませながら言葉にしている姿があった。聞こえてくる音を話題にし、「〇〇って聞こえた」など、子ども同士でも楽しむことが増えた。また、日々の活動の中でも「〇〇みたいだね」などと自発的に見立てることを楽しむきっかけになり、音から想像力を膨らませることができた。また、地域の歴史ある祭りを通して交流を持ち「地域交流」を深めた。耳慣れない祭りの音に興味を持ち、日常の中でも物を運ぶ際に「わっしょいぴっぴ」などと言い祭りに親しみが沸いたようだった。